



豊中市教育センター

〒560-0033 豊中市蛍池中町 3-2-1-600

TEL 06-6844-5290

FAX 06-6840-8127

平成18年(2006年)7月14日 第20号

日和

日和(ひより)という言葉をご存じでしょうか?お天気のことです。

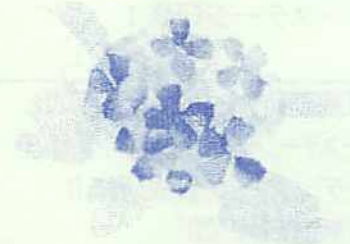
城之崎にも日和山というところがありますが、漁師が漁に出る前に空模様を見たことからその名前が付いたそうです。

梅雨の時期にはとくに雨が多く降るので、「降るのか」、「降らないか」は気になるところです。特に外出の時や、洗濯物を干すときにとても気になるところです。

また、上方落語の話で恐縮しますが、あまり演じられることがない題目に『日和ちがい』があります。

概略を少し紹介したいと思います。

主人公の男は、急に用事ができ、雨が降りそうな日に出かけなくてはならなくなりました。でも、まともな傘の手持ちがありません。そこで、雨が「降る」のか、「降らない」のか、いろいろな人に日和を聞きます。結局、占い師の「雨が降る天気じゃない」との言葉を信じ、出かけますが、途中で雨に降られてしまいました。そこで占い師に文句を言うと「雨が降る。天気じゃない。」と言いくるめられてしまいます。こうして話は続いていきます。



皆さんも突然の外出の時、雨が降るのか降らないのかどう判断されていますか?インターネットのサイトを参考に?テレビ、新聞の天気予報を確認しますか?人に聞いてみますか?

もちろん、これらの情報は積極的に利用しない手はありません。しかし、同時に、外に出て空を見、雲の様子や、風の具合、湿気等を自ら感じることから得られる情報も大切にしないといけないと思います。外出時、インターネットで調べ、「晴れ」の予報だったのに、戸外に出ると雨が降っていた。こんな経験はありませんでしたか?あなたがいるその場所の今の日和は、あなたが戸外に出ることで、すぐ分かるのです。

テレビ、インターネットなどのメディアが利用されるようになり、いつでも簡単に情報が手に入るようになりました。しかし、その情報を利用する時には、自分の観察、経験、他の様々な情報なども加えるなど、自分なりの情報活用ができていますでしょうか?

子どもたちには、落語の主人公のように人まかせにするだけでなく、自らが主体的に情報を集め、活用する力(情報リテラシー)を育成していきたいものです。

もちろん、天気予報には、「雨が降るような天気じゃない『晴れ』」の予報のときでも降水確率がかかれています…。(十河)

夏季休業中研修

参加される研修については、会場 及び 時間等をご確認ください。教職員の皆様の参加をお待ちしております。

また、締め切りが終わっている研修についても、受講可能な場合がありますので、教育センターまでお問い合わせください。

月日(曜)	午前		午後	
	研修名	担当	研修名	担当
7/21(金)	理科教育研修 ① (地学)	教育センター	理科教育研修 ① (地学)	教育センター
7/24(月)	情報基礎研修 ②	教育センター	情報基礎研修 ②	教育センター
7/25(火)	ニューステージ研修 I 情報基礎研修 ② 就学前障害児教育研修	教育センター 教育センター 教育センター	ニューステージ研修 I 情報基礎研修 ② 教育相談研修 ② 生徒 (生活) 指導研修会 ①	教育センター 教育センター 教育センター 青少年補導センター
7/27(木)	初任者研修 (社会体験研修) 情報基礎研修 ③ ニューステージ研修 I	教育センター 教育センター 教育センター	初任者研修 (社会体験研修) 情報基礎研修 ③ ニューステージ研修 I 幼稚園教育研修会①	教育センター 教育センター 教育センター 幼児教育課
7/28(金)	情報基礎研修 ③ ニューステージ研修Ⅱ (小国・小算・小理) コーディネータ養成研修Ⅱ 人権教育研修 ③	教育センター 教育センター 教育センター 人権教育企画課	情報基礎研修 ③ ニューステージ研修Ⅱ (小国・小算・小理)	教育センター 教育センター
7/31(月)	ニューステージⅡ(小音)	教育センター	ニューステージⅡ(小音)	教育センター
8/1(火)			教科・領域研修 (小学校国語科)	教育センター
8/3(木)	初任者研修 (自然体験等)	教育センター	初任者研修 (授業づくりⅡ)	教育センター
8/4(金)	人権教育研修 ④	人権教育企画課		
8/7(月)	技術・家庭科教育研修 (技術) ニューステージⅡ(小音)	教育センター 教育センター	技術・家庭科教育研修 (技術) ニューステージⅡ(小音)	教育センター 教育センター
8/8(火)	ネットワーク担当者研修 ニューステージⅡ(小国)	教育センター 教育センター	ネットワーク担当者研修 ニューステージⅡ(小国)	教育センター 教育センター
8/9(水)	ネットワーク担当者研修	教育センター	ネットワーク担当者研修	教育センター
8/17(木)	初任者研修 (人権教育) ☆定数内講師(1年未満の方と合同)	人権教育企画課 教育センター	初任者研修 (子ども理解等) ☆定数内講師(1年未満の方と合同)	教育センター
8/18(金)	夏期教職員研修会 ニューステージⅡ(小算)	教育センター 教育センター	不登校対応研修 ② ニューステージⅡ(小算)	少年文化館 教育センター
8/21(月)	ニューステージ研修Ⅱ (小算・小理・小音)	教育センター	ニューステージ研修Ⅱ (小算・小理・小音)	教育センター
8/22(火)	学校事務職員研修	教職員課	こどもエンパワメント支援事業研修	青少年補導センター
8/23(水)	情報活用研修 ① 研修345 ⑤ 自然観察ガイドマップ活用研修	教育センター 教育センター 子ども未来部青少年課	情報活用研修 ① 研修345 ⑤ 自然観察ガイドマップ活用研修	教育センター 教育センター 子ども未来部青少年課
8/24(木)	情報活用研修 ① ②	教育センター	情報活用研修 ① ②	教育センター
8/25(金)	情報活用研修 ② ニューステージⅡ(小国・小理)	教育センター 教育センター	情報活用研修 ② ニューステージⅡ(小国・小理)	教育センター 教育センター
8/29(火)	障害児教育研修	教育センター	環境教育研修会 (中学校理科技術職員等研修)	教育センター

★8月28日(月)豊能地区教育課程研究協議会(小・中学校10年経験者研修と兼ねます。)

教育センター開館中！土曜日9:00～12:00 (祝日は除く)

サタデー相談	《保護者・子ども》	7階	予約による初期教育相談(子どもの心理や発達に関して)
教科書閲覧	《市民・教職員》	6階	ロビー
教育図書・教材等の閲覧	《教職員》	6階	ロビー

【教育資料の活用】

当教育センター6階ロビーでは、教職員や市民に閲覧していただくように教科書や教育関係図書を展示しています。

教職員の方々には、2週間をめどに図書の貸し出しを行っています。少しゆとりのあるときに、どんな教育関係図書があるかご覧ください。また、他校や他教育機関の紀要等も閲覧できます。

【研究の場に】

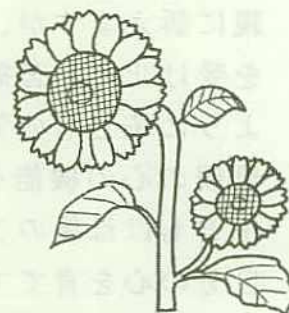
学校を離れ、教育関係図書をすぐ手にとれるところで・・・。

他校の仲間との共同研究に・・・

教育センター6階教科領域研究室をご活用ください。

★土曜日は少しゆったりとした時間が流れています。

よりよい授業づくりにむけて、教育センター6階にお越しく下さい。



夏期教職員研修会

8月18日(金) 10:00

会場: アクア文化ホール

「見えない学力を育てる食育」

キッズ・キッチン協会副会長
食育・料理研究家 坂本廣子さん

子どもたちには、自分の食を自分で管理する力をつけてほしい。「食の自立」を求めて、今、様々な取り組みが行われています。

今回、体験を重視して子ども対象の料理教室などを開いておられる食育・料理研究家の坂本廣子さんにご講演いただきます。坂本さんは、生き抜く力、自分の人生を豊かにする「人間力」を育てるための「体感食育」を提唱されています。

おとなが子どもの育ちにどう関わればいいのか、「食」の側面から一緒に考えてみませんか？



昨年度の授業実践等を
まとめてみませんか？

授業(保育)実践論文募集中！

日々、忙しい中、寸暇を惜しんで研究され、先生方が子どもたちとともに創っておられる授業について、情報発信していただけたらと願い、昨年度より実施しています。

第2次締め切りは、平成18年(2006)年9月29日(金)です。ぜひ、たくさんの応募をお待ちしています。

心の器

先日、ニュースの子育てに関する調査において、「周囲の支援を受けている母親ほど、子育てが楽しいと感じている」という結果を耳にしました。子どもを育てる母親はその周りにはいる家族に支えられ、またその家族は社会により支えられています。同様に教育相談も、子どもに対する支援と同時に、保護者に対する支援が重要な役目を担っています。

では、支えるとはどういうことでしょうか？

生まれたばかりの赤ちゃんは、空腹などの苦痛、不快感を泣くことで母親に訴えますが、母親は身の回りの世話や、あやすことで赤ちゃんの思いを受け止め、苦痛をやわらげた形にして赤ちゃんに返していきます。このように子どもの気持ちを受け止め、子どもに返すという、気持ちを抱える母親の心の機能を“器”“受け皿”という言葉で例えることがあります。子どもは母親のこのような気持ちに守られ、交流を繰り返すことによって、自分の心を育てていきます。やがて自分自身の中に、自分の気持ちについて考え消化していく自らの心の器を持つようになるのです。器というのは、柔軟さと確固とした揺るぎのない態度とをあわせもつもので、相手と一緒に動揺したり、こうあるべきという自分の考えを押し付けることとは正反対のものです。何でも言いなりになるものでもありません。

保護者の相談では、相談の場が器となって、保護者の中に子どもの気持ちを抱える器が機能していくことを考えます。つまり「入れ子の器」のように重なりあっているイメージです。家庭、学校、地域、社会全体が何層もの「入れ子の器」になって一人の子ども・人を支えていると考えられます。

よく考えてみると大人の心の中にも、子どものように甘えたり理解してもらいたいと願う“子ども”の部分と、大人として理性的に行動し考える“大人”の部分とが共存しています。周囲に理解され気持ちを受け止められることで、大人として考える余裕が出てくることはよくあります。逆に気持ちが理解されないと、いつまでたっても“分かって欲しい”、“分かってくれない”という“子ども”の気持ちの部分に支配され、大人として考える部分が力を発揮しないことになります。誰もが周囲の人に気持ちを抱えてもらいながら、一方で器として抱える役割を果たしているのかもしれませんが。(山本)

